

青教ス第530号
令和4年7月26日

各県立学校長 殿

スポーツ健康課長
(公印省略)

県立学校における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための
接触者の取扱い等について（通知）

各校におかれては、日頃から学校における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組まれていることに感謝申し上げます。

標記については、令和4年5月17日付け青教ス第202号により対応しているところですが、令和4年7月25日付けの文部科学省事務連絡による濃厚接触者の待機期間の見直しを受け、別紙1のとおり一部変更することとしました。

なお、臨時休業措置等の取扱いについては、学校における感染拡大状況等を基に見直しを検討しているところであり、8月中旬を目途に通知する予定であることを申し添えます。

つきましては、児童生徒・教職員に対して本通知の内容を周知するとともに、引き続き感染症対策に取り組むようお願いいたします。

また、保護者に対しても対策への協力を依頼してくださるようお願いいたします。

なお、本通知の対応については、今後の新型コロナウイルス感染症の発生状況等に応じて変更する必要があることを申し添えます。

担当	体育・健康グループ 指導主事 原 トモ子
TEL	017-734-9908
FAX	017-734-8275

別紙 1

県立学校における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための休業措置等の取扱い

1 体調不良者（児童生徒）への対応

- (1) 体調不良者は登校を控え、かかりつけ医又は県コールセンターに電話相談の上、医療機関を受診するよう指導すること（出席停止）。
- (2) 検査で陰性と診断された場合等であっても、症状がなくなってから少なくとも**48時間**は自宅待機し、健康観察を行うよう指導すること（出席停止）。

【補足】

- ・ワクチン接種後の発熱等の場合も、ワクチン接種の副反応によるものか、感染症によるものか判断できないことから、出席停止とする。
- ・48時間以上経過していれば感染の可能性がなくなるということではない。

2 陽性判明者の接触者の出席停止措置

- (1) 陽性判明者の接触者（以下の要件に該当する児童生徒）については、陽性判明者との最終接触日の翌日から**5日間**の出席停止とし、症状がなければ**6日目**からの登校を可能とする。なお、**2日目**及び**3日目**に検査し、陰性が確認された場合は、**3日目**からの登校を可能とする。

(注) 抗原定性検査キットを使用する際は、「体外診断用医薬品」を使用すること。

「接触者」

- ・陽性判明者と感染可能期間にマスクを着用していても手の届く距離で15分以上会話をした者
- ・陽性判明者と感染可能期間に会話を伴って一緒に食事をした者
- ・陽性判明者と感染可能期間にマスクを着用していても呼気が荒くなるような運動を共にした者

(注) 接触者については、児童生徒等に陽性が判明した場合に出席停止とする者を特定するための基準として県教育委員会が独自に設定したもので、保健所が特定する「濃厚接触者」とは異なる。

- (2) 出席停止の措置については、接触者に該当する児童生徒本人のみで、保護者等の就業を制限するものではない。
- (3) 特別支援学校やクラスターが発生した高等学校等に対して、保健所から待機期間等について助言があった場合については、その助言等を踏まえて判断する。